

# 高円宮殿下日本カナダ 記念基金

ニュースレター

第5号 2012年11月

www.ptjc.ualberta.ca/PTJCMF

## On the Cover

1. PTJC所長からのご挨拶

2. 第3回日本カナダ学術コンソーシアム学生フォーラム報告

## Inside This Issue

第3回日本カナダ学術コンソーシアム学生フォーラム報告(前ページより続く)

3. PTJCMF学生モビリティプログラム受賞者

4. 会計報告

5. 今後のPTJC主催イベント

6. JACAC近況報告

7. 今後のPTJCMFイベント



発行者:  
アルバータ大学 高円宮  
日本教育・研究センター  
カナダ アルバータ州  
エドモントン市、  
アルバータ州立大学  
TELUS 203B号室 T6G 2R1  
電話: 1-780-492-1569  
Fax: 1-780-492-7440  
ホームページ:  
www.ptjc.ualberta.ca

## 1) 高円宮日本教育・研究センター長下野香織からのご挨拶

2012年11月21日は高円宮憲仁親王殿下がご薨去されて10年目のご命日となります。ここに長年に渡りアルバータ大学と友好関係を持たれ、そして世界各国での日本語教育及び日本文化の振興とカナダの大学教育に多大なるご貢献をされた殿下に、慎んで追悼の意を捧げます。

今回で高円宮記念基金年報は第5号となります。高円宮殿下のご功績を記念して設立された高円宮殿下カナダ日本記念基金(PTJCMF)は、今後も日加間学生流動及び日本分野教育・研究並びに文化交流プログラムを奨励・支援していくことにより更なる日加関係の強化に努めることを目的としております。今後も故高円宮殿下のご功績と信念に敬意を払い、当基金のプログラム推進に尽力を尽くして参りますので、今後とも引き続きご支援・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

## 2) 第3回日本カナダ学術コンソーシアム学生フォーラム報告 (2012年2月19-26日)

2012年2月19日(日)から 25日(土)の一週間、京都の立命館大学で第3回日加学術コンソーシアム学生フォーラムが開催され、大成功を収めました。今回は初めて事務局校ではない大学が主催となったフォーラムでした。コンソーシアムに加盟するカナダの8校より15名、日本の10校からそれぞれ15名、計30名の学生が参加しました。



高円宮妃久子殿下、在日カナダ大使ジョナサン・フリード閣下、JACAC参加学生と招待客の皆様。

「震災後の日加協力と相互理解」というテーマの下、「日本、カナダと国際社会の観光産業」及び「異文化理解と国際企業の成功」が副議題として設けられ、参加学生達は講義やグループワークを通して、グローバル社会における日加関係について議論しました。

日本・カナダ学生学術フォーラムは、日本・カナダ両国の学生が新たな学術的な知見を獲得し意見交換をすることにより、日加両国に関連する社会的問題や課題についての学術情報の共有、日加学生交流の促進、そして両国間の相互理解の深化に貢献することを目標としています。

今フォーラムは立命館大学で開催されました。最後の数日間は、神戸市周辺や京都市内、寺院、そして文化遺産などを訪れました。最終日には立命館大学朱雀キャンパスにて、グループ・プレゼンテーション、閉会式及びレセプションが開かれました。閉会式では、高円宮妃久子殿下、そして在日カナダ大使ジョナサン・フリード閣下より閉会のお言葉を賜りました。参加学生達はフォーラムプログラムを通じて、国際交流の重要性をより深く理解するとともに、プログラム外のような活動を通して日加両国の問題や各人の学業や生活について話し合い、相互理解をより深めることができました。

第4回フォーラムは2013年2月16日から24日の期間、トロントのヨーク大学で開催されます。詳細は項目7をご参照下さい。日本カナダ学術コンソーシアムの詳細や加盟校についての情報はウェブサイトwww.jacac.comをご覧ください。

## (前のページから続く。) 第3回JACACフォーラム報告

## 参加学生からのコメント

今回は一週間に渡って、今までにない経験と見解を得ることができました。素晴らしい機会を与えてくれたJACAC、そして今回のフォーラムの関係者の皆様にお礼を申し上げます。皆様のご努力は、今回のフォーラム参加学生30人が今後、新しい視点でこれからの人生を見つめていくことにつながることに確信しています。



立命館大学にて、フォーラム閉会式の様子。

ロビン・ビガー、プリンス・エドワードアイランド大学

今回のフォーラムでは自らの見解が広まる貴重な体験をさせていただきました。今後も今回のフォーラムで学んだことを生かしていきたいです。他国との相互理解を深めることは重要です。そして私自身も「震災後の日加協力と相互理解」に貢献していきたいです。今回素晴らしい機会を与えて下さった関係者皆様にお礼を申し上げます。

宮内 雄飛、立命館大学

## フォーラム参加者リスト

## カナダ

テ・アン(アルバータ大学)  
 ピーター・アルボウ(ブリティッシュコロンビア大学)  
 ジャスミン・ベランガーグリック(モントリオール大学)  
 ロビン・ビガー(プリンスエドワードアイランド大学)  
 サミュエル・ブリー(モントリオール大学)  
 サイモン・ブローダー(モントリオール大学)  
 ガブリエル・チャン(ブリティッシュコロンビア大学)  
 ユウミ・カリー(アルバータ大学)  
 アンディジャーナ・ヨーキック(ヨーク大学)  
 サミュエル・ルミュー(ラヴァル大学)  
 ケイティ・シュム(ヨーク大学)  
 マリエル・ティンボ(ラヴァル大学)  
 アンゲル・ツェ(クイーンズ大学)  
 アレクサンダ・ターコート(ラヴァル大学)  
 ヘザー・ウォグデン(ウォータールー大学)

## 日本

安藤 礼子(上智大学)  
 浅野 由香梨(関西学院大学)  
 藤沢 奈穂(城西国際大学)  
 林 慎也(関西学院大学)  
 廣野 允威(立命館大学)  
 久保 美菜穂(津田塾大学)  
 松山 鈴菜(北海道大学)  
 宮内 雄飛(立命館大学)  
 水谷 有梨(京都教育大学)  
 永井 彩華(上智大学)  
 岡野 仁美(法政大学)  
 新村 友美(名古屋大学)  
 辻本 翔(明治大学)  
 山瀬 加奈(明治大学)  
 吉本 理沙(名古屋大学)

## 3) PTJCMF学生モビリティプログラム 受賞者 (2011年10月-12年9月)

## 高円宮妃殿下英語論文コンクール 2011年12月

2009-10年度の論文テーマは「日本における英語教育の役割」です。今年之最優秀賞は関西学院大学 社会学部3年 小原克也さんの論文、「The Potential of English Education」が、二等賞には、鹿児島国際大学、満重拓也さんの論文、「Changing English Education in Japan from the Grass Roots」が選ばれました。小原さんには、アルバータ大学英語プログラムの一学期分の授業料と、750ドルの旅費が授与されました。満重さんは、今学期アルバータ大学英語プログラムを受講しています。

コンクールの詳細及び受賞論文はPTJCMFサイトをご覧ください。

## 第3回日本・カナダ学生学術フォーラム 2012年2月19-26日

PTJCMFは2012年学生フォーラムに際し、参加学生の旅費その他をサポート致しました。詳細は、項目2をご覧ください。

## 第23回全カナダ日本語弁論大会 2012年3月31日

2012年全カナダ日本語弁論大会はブリティッシュコロンビア大学とPTJCの共催で開催されました。最優秀賞にはノバ・スコシア州セントマリー大学のヨンスー・コーさんのスピーチ、「ハビタットフォーヒューマニティ・グアテマ



英語論文コンクール受賞者満重さん、ジャスパーにて。

ラ」が選ばれました。大会の詳細は全カナダ日本語弁論大会ウェブサイトをご覧ください。 [www.cajle.info/programs/speech-contest/](http://www.cajle.info/programs/speech-contest/)

#### 夏期日本語研修への旅費助成 2012年5月22日-6月22日

PTJCMFは、京都、立命館大学主催の夏期日本語研修に参加する学生に対し、旅費助成を行っております。この5週間コースでは日本語及び日本文化と歴史について学びました。今年の実賞者はクワン・ヴィンロンさんです。

#### JACOS-JAPEX 工学技術奨学金 2012年9月

2008年にアルバータ大学生を対象に認可されて以来、現在JACOS-JAPEX工学技術奨学金はアルバータ州の3大学、アルバータ大学、キアノ・カレッジ、そして今年度から新たにカルガリー大学の学生からも選出されています。本奨学金は、鉱山工学、石油工学、化学工学、マテリアル工学、地質工学、環境工学に就学中の2・3・4年生の中から最も優秀な成績を取った学生に授与されます。

2012-13年JACOS-JAPEX工学技術奨学金受賞者は次の14名です。なお、今年度のカルガリー大学からの受給者は、2011年充当分も含まれています。

##### アルバータ大学

- クリスティン・アントニオ
- マーカス・アイヴィ
- テッサ・レイ・オメルチェンコ

##### キアノカレッジ

- ステファニー・チャルク
- マッケンジー・クロス
- アンジェリカ・ゴンザレス

##### カルガリー大学

- イライザ マー ユモル マナラン
- ケビン ロバート・ショステック
- エリン・マン・キン ウー
- イアン・キャメロン ハイ
- シモン ロバート・シュミッツ
- ゴードン・ジウエット
- ニンギュー・ユウ
- キヒュン・キム

#### 5) 高円宮日本教育・研究センター主催のその他のイベント

PTJCでは毎年日本語教育や日本文化の研究の促進の為の地域、または全国的なイベントを主催しています。カナダ国内の民間企業や政府の協力の下、日本分野の教育・研究へのサポートを提供することを目標としています。

#### 2012年東アジア学講座シリーズ 2012年3月

PTJCのプログラムの一環としてアルバータ大学東アジア学科とPTJC共催で2012年冬期東アジア講座シリーズが開催されました。

2012年3月8日

シャラリン・オルバー教授 ブリティッシュコロンビア大学「驚異的な俗作：日本の15年戦争と紙芝居」

路上娯楽として子供たちに楽しまれてきた紙芝居は3つの要素から成り立っている一絵、セリフ、そして演技。日清戦争、第二次世界大戦中にプロパガンダとして使われた紙芝居について論じた。

2012年3月30日

トマ・ペラル博士 フランス国立科学研究センター 「琉球語と日本語の関係」

長年琉球語は方言の一つだと考えられ、語学上の共時的、通時的な重要性は過小評価されてきた。しかし琉球語は、日本本土の方言にはない特殊な言語学上の機能を有している。この講義では、琉球語とは何か、琉球語がどのように日本語と異なるか、そして日本の歴史との関連性について論じた。

#### 東日本大震災復興支援イベント：日本の復興と未来 2012年4月26日

PTJCとアルバータ大学日本人大学院生会（JAGSA）共催の東日本大震災復興支援講演会を開催しました。昨年4月11日に開催された最初のイベントから1年経ち、今回はゲスト講演者として、ウォータールー大学のデイヴィッド・ウエル

#### 4) PTJCMF会計報告

2012年3月31日時点で、帳簿残高は1,692,977.84ドルになります。運営予算は80,268.12ドルでした。これより63,500ドルが2012-20113年度予算に充てられます。尚、3月以降55,000ドルの寄付金が追加されたこともここに報告させていただきます。

チ博士をお招きし、震災後の復興をテーマとする、「3・11から一年：日本に課された試練と再興」を題とした講演会カーであるユウミ・カリーさんとタエ・アンさんは昨年の震災復興イベントにも参加しています。なお、Tシャツ販売も行い、その売り上げ金\$2,233.57が日本赤十字に募金されました。

#### カナダ日本語教育振興会 (CAJLE) 年次総会 2012年8月2-3日

CAJLEでは、日本語教師や研究者を対象とした日本語教育学、日本学、そして国際社会における日本語教育に関する研究発表や意見の交換の場となる大会を年に一回開催しています。2012年度年次総会は、大自然に囲まれたアルバータ州バンフ国立公園で開催され、「理論と実践の連携」をテーマに世界各国から集まった研究者や日本語教師による研究発表や議論が行われました。

#### リプレイ・ジャパン：ゲームシンポジウム 2012年8月22日

日本のゲーム文化やゲーム企業をトピックとしたシンポジウム、「リプレイ・ジャパン」がアルバータ大学で開催されました。カナダ国内及び日本より研究者を招き、今後のゲーム文化に課された課題や機会、そして異文化における価値観の相違について議論しました。<[bit.ly/Nuq6TL](http://bit.ly/Nuq6TL)>

#### 6) 日加学術コンソーシアム近況報告：新規加盟校など

今年度から新たに早稲田大学が日本側日加学術コンソーシアムに加盟しました。これで加盟校はカナダ10校、日本12校の合計22校になりました。早稲田大学の加盟により今後学生たちに更なる機会が与えられることになりました。JACACについての詳細はウェブサイトをご参照下さい。www.jacac.com

#### JACAC加盟校 (2012年7月1日時点)

明治大学	京都教育大学	モントリオール大学
城西国際大学	名古屋大学	コンコーディア大学
上智大学	早稲田大学	ラヴァル大学
桜美林大学	津田塾大学	プリンスエドワードアイランド大学
関西学院大学	アルバータ大学	ウォータールー大学/ レニソンカレッジ大学
法政大学	ブリティッシュコロンビア大学	マニトバ大学
立命館大学	ヨーク大学	
北海道大学	クイーンズ大学	

#### 7) 今後のPTJCMFイベント

##### 高円宮妃殿下英語小論文コンクール

今年度の英語小論文コンクール募集は、11月4日に閉め切れ、現在審査中です。日本の大学生を対象とした本コンクールでは最優秀賞受賞者に、アルバータ大学英語プログラムの学費を含む3000カナダドル相当の奨学金が授与されます。2012年度の小論文トピックは、「国際社会でのカナダの役割」です。

##### 日本カナダ学術コンソーシアム・学生フォーラム 2013年2月16-24日

2013年度2月に予定されている第4回日加学術コンソーシアム・学生フォーラムは、オンタリオ州トロント市のヨーク大学で開催されます。例年通り、主に3、4回生の学部生が22の加盟校を代表してトピックに沿った意見交換や議論を行います。今回のトピックは、『日加経済関係強化とその課題ー現代の若者はどう行動すべきかー』です。副議題として、国際社会における人的資本の開拓、現在の世界経済連携協定と経済情勢について議論します。今回のフォーラムでは、トピックを理解し、そして日加の学生間の相互理解をより深めることを目標としています。

##### 全カナダ日本語弁論大会 2013年3月23日

3月にはカナダ国内の7地区で地区大会が開催されます。各地区の上位入賞者には、全国大会参加資格と旅費が授与されます。2013年度大会は、ウィニペグ市、マニトバ大学にて開催されます。毎年、のりながら高レベルな発表が多く、大会審査員も多くの優秀な発表の中から受賞者を選ぶ事は年々難しくなっているのではないのでしょうか。全国大会大賞受賞者には、PTJCMFより3000カナダドルの旅行補助金が授与されます。